

顔を見ながらの交流 有意義でした



石川の大豆の煮物、
大阪のトマト、
福島米のおにぎり

大阪に行って生の声を聞いて、これからも安心安全に努めていきたいと思いました。試食のおにぎりを食べて我ながら自分たちの作った米はおいしいと思いました。原発問題、憲法改正、TPP等問題の多い中、これからも頑張ってくださいと励まされました。直接新婦人の方々の顔を見ながら農業について話ができたいことは大変有意義でした。

須賀川農民連 矢吹一男さん

大阪のみなさんの笑顔と元気が刺激的！

大阪新婦人の方は種子法廃止についても学習をされており、私の上っ面だけの説明は完全に物足りなさを与えてしまったような気がして申し訳ない限りです。初めて参加した夜の交流会、産直運動を通して20年以上お付き合いしている福島と大阪の長い歴史と信頼関係が垣間見えてほっこりする、いい時間でした。なにより大阪のみなさんの笑顔と元気。これが刺激的です！

交流会で一番伝えたかったこと、それは『食の安さだけを追求するのは命を削ること、孫子の代まで責任を持つ』。翌日、慣れない田植作業をする弟を見ながら「頑張れ」とつぶやき曲がりまくっている田んぼの苗を見て、母と姉妹で笑いながら見る今年の風景は格別でした。

安達地方農民連 野地友子さん



学習会に使ったパネル

農民連フラッシュ flash

県内2ヶ所で九条田んぼ田植え

今年も県北と郡山地域で行われた九条田んぼの田植え。5月27日県北・桑折町には農民連、新婦人合わせて約30名が参加。今年は『怒 九条を守ろう』の文字が田んぼいっぱいに植えられました。



食といのちを届ける

農民連産直運動交流会

5月31日～6月4日大阪新婦人との交流会が開催され、福島から24名、大阪9名、石川8名が参加、155ヶ所で交流会が開かれました。「一汁一菜」の食事、水田の持つ多面的機能、協同組合がユネスコ登録されていること、種子法が廃止されること、福島の現状と安心安全に繋がる生産に努力していることなど生産者の生の声を交えながらの交流会となりました。おいしいお料理も並び食べることの大切さを共有した交流会となりました。



大豆やコブ、根菜を使ったお料理がずらり



夜の交流会 輪になってふるさとを歌いました

新婦人のパワーとエネルギー、個性の源は？

10数年ぶりに参加、各地の班会で我が家の田植えの事、今でも山菜の一部が出荷や摂取制限されていること、原発事故がもたらしている生活の変化などについて話をしました。語尾が重い？伝わるのに時間を要したこともありました。それにしても変わらない益々磨きのかかる新婦人のパワーと個性、エネルギーの源は何でしょうか。交流会は食の安全とりわけお米と野菜産直への熱い思いが強く伝わってきました。世代を超えて長いお付き合いができるように努力していきたいと思いました。

安達地方農民連 須藤軍蔵さん



in 大阪

交流会で聞いたこと広げます

安倍政権退陣！「米生産者交流会」の学習会でいっそうアベ政治に怒りがわきました。いま、私にできることは、交流会で聞いたことをご近所や知人に話し「産直運動に参加してほしい。環境にも健康にもいいねんで！」と、声を掛け広げること。来年も福島のみなさんと会えるのを楽しみにしています。市民と野党で誕生させた政府の下で会えるのを！

新婦人生野支部 中川悦子さん

安全な米作りにさらに頑張りたい

始めて交流会に参加しました。私自身稲作農家で、作る苦労ばかり感じていましたが、交流会に参加していただいている方々の意見を知り、特に福島は原発事故の問題があり、各支部の役員の方々の苦労がとてもよくわかりました。さらに、家族構成、高齢化などで消費の減少の問題もあるようでした。今後私自身もできる限り皆様の意見に耳を傾け、さらに安全な稲作の生産者の一人として頑張りたいと思います。行く先々での昼食は大変おいしくいただき、ありがとうございました。

県北農民連 玉根吉光さん



米作りについて話す生産者

！夏の暑さと湿度はお米の大敵！

温度と湿度の高い夏場はお米にとっても厳しい時期。できるだけ空気に触れない(酸化を防ぐ)ことと低温保存(10℃～15℃ぐらい)が大事。こんな点に注意してみてください。

- ①届いた袋のまま保存しない(小さな空気抜き穴が開いています)
- ②密閉できる容器に移し替える
- ③冷蔵庫の野菜室に保存(口の広いペットボトルなど便利)
- ④新しいお米と古いお米は混ぜない
- ⑤1ヶ月程度で使い切るようにする



／青年部の活動、地元の農や食のことをリレーで紹介／

若き農業者のつぶやき のーと
せいねんぶ農人

長男が「農業を継ぐ」と宣言してから2回目の田植え。田植機の運転も上手くなりました。弱冠二十歳の現役大学生。これから仕事と農業の両立は難しいと思うけど、頑張りたいものです。

by内山

